

強度行動障害支援スーパーバイザー養成研修

開催にあたって

福祉事業所職員による利用者虐待の中で、被虐待者の多くが行動障害を伴う人たちです。自治体による「強度行動障害支援者養成研修」が始まりましたが、支援現場でスーパーバイザーとして活躍できる人材の養成が急務です。そこで、私ども法人独自で、「スーパーバイザー養成研修」を実施いたします。よろしくご参加ください。

■開催日 : 平成 28 年 ①10 月 21 日(金) ②11 月 11 日(金) ③12 月 20 日(火)
④1 月 20 日(金) ⑤2 月 17 日(金) ⑥3 月 17 日(金)

■時間 : 14 : 00~16 : 00

■会場 : 当法人 4 階会議室

■講師 : 当法人 発達障害支援スーパーバイザー 堀内 桂

■参加人数 : 12 人 (6 事業所×2 人) ※先着順になります

■参加費 : 1 事業所 2 人参加で 8 万円 (6 回分の費用 消費税・テキスト代含む)

※原則 2 人参加ですが、1 人参加でもお受けいたします。

その場合は参加費は 1 人 5 万円となりますのでご注意ください。

■本研修は法人独自のものです、大阪府強度行動障がい支援者養成研修とは異なります

講師紹介

社会福祉法人 北摂杉の子会
発達障害スーパーバイザー 堀内 桂

大阪教育大学大学院卒。

1991 年臨床心理士資格取得。1995 年より、自閉症児の療育をはじめ。その後、大阪市立心身障害者リハビリテーションセンターにて、手帳判定や発達障害の診断事業に携わる。



申込方法

- ・当法人ホームページ(<http://www.suginokokai.com>)内「お問い合わせ」にあります申し込みフォームに必要事項を入力ください。先着順となりますので、参加が決まりましたら、参加費と振込口座名を記載した請求書を送ります。
- ・参加費は初日 1 週間前までに必ずお振込みください。振込手数料は貴団体にてご負担ください。
- ・キャンセルについては、開催初日の 1 週間前からは受講料の 50%、開催初日は 100%をキャンセル料として申し受けます。
- ・お問合せ ☎072-662-8133 担当: 河辺・堀内

<プログラム内容>

①10月21日(水) 障害特性の理解

- ・強度行動障害とは
- ・自閉症スペクトラムとの関係
- ・表面に見える行動障害と、その水面下にある独特な認知・情報処理・脳機能
- ・自閉症スペクトラムに対する合理的配慮とは

②11月18日(金) 合理的配慮の構築にむけて ～アセスメントの重要性と構造化の考え方～

- ・構造化のアイデアを生かすためのアセスメントの重要性
- ・想像の苦手からくる予期不安を軽減するための工夫(構造化)
- ・空間を整理して捕らえることの苦手を補う工夫
- ・感覚過敏への対応

③12月20日(火) コミュニケーションの支援について

- ・権利擁護の視点からみたコミュニケーション支援の必要性
- ・多くの人(多数派)のコミュニケーション行動とは
- ・自閉症スペクトラムの人のコミュニケーションの特徴
- ・話し言葉に頼らないコミュニケーション支援をどう構築するか
- ・コミュニケーションサンプルに基づくコミュニケーション行動への介入

④1月20日(金) 行動分析の考え方とグループワーク

- ・変容する行動障がいをどうとらえるか
- ・行動(する、した)だけに注目した記録
- ・行動記録から、行動の変容を考える
- ・特性のまとめから、構造化へ(グループ討議)
- ・具体的な支援構築のためのシミュレーション(グループ討議)

⑤2月17日(金) 事例研究

⑥3月17日(金) 効果検証

会場

社会福祉法人北摂杉の子会 4階会議室
高槻市城北町1-6-8 奥野ビル4階
(高槻警察署向いのビル)

TEL 072-662-8133 担当:河辺・堀内

